

## マスマス元肥をPR販売

### 高校会議所がJA資材館で

20日

富士宮市外神のJA「ふじ伊豆ふじのみや資材館」で20日(祝・水)午前10時～正午、富士宮高校会議所がSDGs実践として開発した堆肥「マスマス元肥(げんぴ)」をPR販売する。

高校会議所のメンバーが売り場に立ち、マスマス元肥の特徴や効果、取り組みなどを紹介し、販売促進につなげる。サービスクラス企画として、購入した先着50人にマスマス元肥2・5kgを進呈する。

マスマス元肥は、市産のニジマスの加工残渣(ざんさ)と「朝霧牛」の牛ふんを使って商品化し、SDGsにある廃棄物の発生防止や削減、再生利用などに役立っている。特徴としてはリン、カルシウムが通常の堆肥より多く、野菜や花などの生育への効果が報告されているという。

「マスマス元肥を使って富士宮をマスマス元気！」と題したプロジェクトで、普及・活用をさまざまな実践活動を展開しており、JAでは高校生の活動を応援するために、昨年7月から資材館で販売している。